

◎脱税の防止のための情報の交換及び個人の所得に対する租税に関する二重課税の回避のための日本国政府とジャージー政府との間の協定

(略称) ジャージーとの租税協定

平成二十三年十二月 二日 ロンドン(英国)で署名
平成二十五年 六月 十七日 国会承認
平成二十五年 七月 三十日 承認の閣議決定
平成二十五年 七月三十一日 セント・ヘリアで承認を通知する公文の交換
平成二十五年 八月 二日 公布及び告示
(条約第七号及び外務省告示第二七〇号)
平成二十五年 八月 三十日 効力発生

目次	ページ
前文	二七一
第一章 総則	二七一
第一条 一般的定義	二七一
第二章 情報の交換	二七四
第二条 目的及び適用範囲	二七四
第三条 管轄	二七四
第四条 対象となる租税	二七四
第五条 要請に基づく情報の交換	二七四

第六條	海外における租税に関する調査	二七六
第七條	要請を拒否することができる場合	二七七
第八條	秘密	二七八
第九條	費用	二七八
第三章	二重課税の回避	二七八
第十條	対象となる者	二七八
第十一條	対象となる租税	二七八
第十二條	居住者	二七九
第十三條	退職年金	二八〇
第十四條	政府職員	二八〇
第十五條	学生	二八一
第十六條	二重課税の除去	二八一
第四章	特別規定	二八二
第十七條	相互協議手続	二八二
第五章	最終規定	二八二
第十八條	見出し	二八二
第十九條	効力発生	二八三
第二十條	終了	二八三
末	文	二八四
○議定書		二八五

脱税の防止のための情報の交換及び個人の所得に対する租税に関する二重課税の回避のための日本国政府とジャージー政府との間の協定

日本国政府及びグレートブリテン及び北アイルランド連合王国政府の委任に基づき日本国政府と租税に関する情報の交換のための協定を交渉し、締結する権限を有するジャージー政府は、

脱税の防止のための情報の交換及び個人の所得に対する租税に関する二重課税の回避のための協定を締結することを希望して、

次のとおり協定した。

第一章 総則

第一条 一般的定義

1 この協定の適用上、文脈により別に解釈すべき場合を除くほか、

(a) 「日本国」とは、地理的意味で用いる場合には、日本国の租税に関する法令が施行されている全ての領域（領海を含む。）及びその領域の外側に位置する区域であつて、日本国が国際法に基づき主権的権利を有し、かつ、日本国の租税に関する法令が施行されている全ての区域（海底及びその下を含む。）をいう。

(b) 「ジャージー」とは、地理的意味で用いる場合には、ジャージー代官管轄区（同代官管轄区の周辺の領海を含む。）をいう。

(c) 「締約者」とは、文脈により、日本国又はジャージーをいう。

(d) 「権限のある当局」とは、次の者をいう。

ジャージーとの租税協定

AGREEMENT BETWEEN THE GOVERNMENT OF JAPAN
AND THE GOVERNMENT OF JERSEY
FOR THE EXCHANGE OF INFORMATION
FOR THE PURPOSE OF THE PREVENTION OF FISCAL EVASION
AND THE AVOIDANCE OF DOUBLE TAXATION
WITH RESPECT TO TAXES ON INCOME OF INDIVIDUALS

The Government of Japan and the Government of Jersey, the Government of Jersey having the right under the terms of its Entrustment from the Government of the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland to negotiate and conclude a tax information exchange agreement with the Government of Japan,

Desiring to conclude an Agreement for the exchange of information for the purpose of the prevention of fiscal evasion and the avoidance of double taxation with respect to taxes on income of individuals,

Have agreed as follows:

Chapter 1
GENERAL PROVISIONS

Article 1
GENERAL DEFINITIONS

1. For the purposes of this Agreement, unless the context otherwise requires:

(a) the term "Japan", when used in a geographical sense, means all the territory of Japan, including its territorial sea, in which the laws relating to Japanese tax are in force, and all the area beyond its territorial sea, including the seabed and subsoil thereof, over which Japan has sovereign rights in accordance with international law and in which the laws relating to Japanese tax are in force;

(b) the term "Jersey", when used in a geographical sense, means the Bailiwick of Jersey, including its territorial sea;

(c) the term "Contracting Party" means Japan or Jersey as the context requires;

(d) the term "competent authority" means:

ジャージーとの租税協定

一七二

- (i) 日本国については、財務大臣又は権限を与えられたその代理者
- (ii) ジャージーについては、財務財源大臣又は権限を与えられたその代理者
- (e) 「者」には、個人、法人及び法人以外の団体を含む。
- (f) 「法人」とは、法人格を有する団体又は租税に関し法人格を有する団体として取り扱われる団体をいう。
- (g) 「株式公開法人」とは、その主たる種類の株式が公認の有価証券市場に上場されている法人をいう。ただし、その上場された株式が一般に容易に購入され、又は販売される場合に限る。株式は、その購入又は販売が限られた投資家の集団に黙示的にも明示的にも制限されていない場合には、一般に容易に購入され、又は販売されるものとする。
- (h) 「主たる種類の株式」とは、法人の議決権及び価値の過半を占める一又は二以上の種類の株式をいう。
- (i) 「公認の有価証券市場」とは、次のものをいう。
 - (i) 日本国の金融商品取引法（昭和二十三年法律第二十五号）に基づき設立された金融商品取引所又は認可金融商品取引業協会により設立された有価証券市場
 - (ii) チャネル諸島証券取引所
 - (iii) 両締約者の権限のある当局が公認の有価証券市場として合意するもの

- (1) in the case of Japan, the Minister of Finance or his authorised representative; and
- (11) in the case of Jersey, the Treasury and Resources Minister or his authorised representative;
- (e) the term "person" includes an individual, a company and any other body of persons;
- (f) the term "company" means any body corporate or any entity that is treated as a body corporate for tax purposes;
- (g) the term "publicly traded company" means any company whose principal class of shares is listed on a recognised stock exchange provided its listed shares can be readily purchased or sold by the public. Shares can be readily purchased or sold "by the public" if the purchase or sale of shares is not implicitly or explicitly restricted to a limited group of investors;
- (h) the term "principal class of shares" means the class or classes of shares representing a majority of the voting power and value of a company;
- (1) the term "recognised stock exchange" means:
 - (1) any stock exchange established by a Financial Instruments Exchange or an approved-type financial instruments firms association under the Financial Instruments and Exchange Law (Law No. 25 of 1948) of Japan;
 - (11) the Channel Islands Stock Exchange; and
 - (111) any other stock exchange agreed upon by the competent authorities of the Contracting Parties;

(j) 「集団投資基金又は集団投資計画」とは、あらゆる集団投資の媒体（法的な形態のいかんを問わない。）をいう。「公開集団投資基金又は公開集団投資計画」とは、その持分証券、株式その他の持分が一般に容易に購入され、販売され、又は償還される集団投資基金又は集団投資計画をいう。集団投資基金又は集団投資計画の持分証券、株式その他の持分は、その購入、販売又は償還が限られた投資家の集団に黙示的にも明示的にも制限されていない場合には、一般に容易に購入され、販売され、又は償還されるものとする。

(k) 「要請者」とは、情報の提供を要請する締約者をいう。

(l) 「被要請者」とは、情報の提供を要請された締約者をいう。

(m) 「情報収集のための措置」とは、一方の締約者が要請された情報を入手し、かつ、提供することを可能にするための法令及び行政上又は司法上の手続をいう。

(n) 「情報」とは、事実、記述又は記録（形態のいかんを問わない。）をいう。

2 締約者によるこの協定の適用に際しては、この協定において定義されていない用語は、文脈により別に解釈すべき場合を除くほか、当該締約者の法令において当該用語がその適用の時点で有する意義を有するものとする。当該締約者において適用される租税に関する法令における当該用語の意義は、当該締約者の他の法令における当該用語の意義に優先するものとする。

(j) the term "collective investment fund or scheme" means any pooled investment vehicle, irrespective of legal form. The term "public collective investment fund or scheme" means any collective investment fund or scheme provided the units, shares or other interests in the fund or scheme can be readily purchased, sold or redeemed by the public. Units, shares or other interests in the fund or scheme can be readily purchased, sold or redeemed "by the public" if the purchase, sale or redemption is not implicitly or explicitly restricted to a limited group of investors;

(k) the term "Requesting Party" means the Contracting Party requesting information;

(l) the term "Requested Party" means the Contracting Party requested to provide information;

(m) the term "information gathering measures" means laws and administrative or judicial procedures that enable a Contracting Party to obtain and provide the information requested; and

(n) the term "information" means any fact, statement or record in any form whatever.

2. As regards the application of this Agreement at any time by a Contracting Party, any term not defined therein shall, unless the context otherwise requires, have the meaning that it has at that time under the laws of that Contracting Party, any meaning under the applicable tax laws of that Contracting Party prevailing over a meaning given to the term under other laws of that Contracting Party.

ジャージーとの租税協定

第二章 情報の交換

第二条 目的及び適用範囲

両締約者の権限のある当局は、この協定の実施又は第四条に規定する租税に関する両締約者の法令の運用若しくは執行に関連する情報の交換を通じて支援を行う。そのような情報には、同条に規定する租税の決定、賦課及び徴収、租税債権の回収及び執行並びに租税事案の捜査及び訴追に関連する情報を含む。情報は、この協定に従って交換するものとし、かつ、第八条に規定する(1)(b)により秘密として取り扱われる。この協定に基づいて被要請者が情報を入手し、及び提供するに際しては、被要請者の法令又は行政上の慣行によつて当該情報を有する者に対して保障されている手続上の権利及び保護は、これらの権利及び保護が実効的な情報の交換を不当に妨げ、又は遅延させる場合を除くほか、引き続き適用される。

第三条 管轄

被要請者は、その当局によつて保有されておらず、かつ、その領域的管轄内にある者によつて保有され、又は管理されていない情報については、それを提供する義務を負わない。

第四条 対象となる租税

この章の規定は、締約者又はその地方政府若しくは地方公共団体のために課される全ての種類の租税に適用する。

第五条 要請に基づく情報の交換

1 被要請者の権限のある当局は、第一条に定める目的のため、要請に応じて情報を提供する。当該情報は、調査の対象となる行為が被要請者の領域的管轄内において行われたとした場合にその法令の下において犯罪を構成するか否かを考慮する(1)(b)なく提供される。

要請に基づく情報の交換

対象となる租税

管轄

目的及び適用範囲

Chapter 2 EXCHANGE OF INFORMATION

Article 2 OBJECT AND SCOPE

The competent authorities of the Contracting Parties shall provide assistance through exchange of information that is foreseeably relevant for the carrying out of this Agreement or to the administration or enforcement of the laws of the Contracting Parties concerning taxes referred to in Article 4. Such information shall include information that is foreseeably relevant to the determination, assessment and collection of such taxes, the recovery and enforcement of tax claims, or the investigation or prosecution of tax matters. Information shall be exchanged in accordance with the Agreement and shall be treated as confidential in the manner provided in Article 8. When the Requested Party obtains and provides information under the Agreement, the procedural rights and safeguards secured to persons by the laws or administrative practices of the Requested Party remain applicable, to the extent that they do not unduly prevent or delay effective exchange of information.

Article 3 JURISDICTION

The Requested Party is not obligated to provide information which is neither held by its authorities nor in the possession or control of persons who are within its territorial jurisdiction.

Article 4 TAXES COVERED

This Chapter shall apply to taxes of every kind and description imposed on behalf of a Contracting Party or of its political subdivisions or local authorities.

Article 5 EXCHANGE OF INFORMATION UPON REQUEST

1. The competent authority of the Requested Party shall provide upon request information for the purposes referred to in Article 2. Such information shall be provided without regard to whether the conduct under examination would constitute a crime under the laws of the Requested Party if such conduct occurred within the territorial jurisdiction of the Requested Party.

- 2 被要請者は、その権限のある当局が保有する情報が情報提供の要請に応ずるために十分でない場合には、自己の課税目的のために必要でないときであっても、要請された情報を要請者に提供するために必要な全ての関連する情報収集のための措置をとる。
- 3 要請者の権限のある当局から特に要請があった場合には、被要請者の権限のある当局は、被要請者の法令によって認められる範囲において、記録の原本の写しに認証を付した形式で、この条の規定に基づく情報の提供を行う。
- 4 各締約者は、第二条に定める目的のため、自己の権限のある当局に対し、次に掲げる情報を要請に応じて入手し、及び提供する権限を付与することを確保する。
 - (a) 銀行その他の金融機関及び代理人として活動し、又は受託者の資格で活動する者(名義人及び信託の受託者を含む。)が有する情報
 - (b) 法人、組合その他の者の所有に関する情報(第三条の規定の範囲内で、所有の連鎖における全ての者の所有に関する情報を含む。)。そのような情報は、次に掲げるものを含む。
- (ii) 財団については、設立者、理事会の構成員及び受益者に関する情報
- 5 この協定は、両締約者に対し、過重な困難を生じさせることなしに株式会社公開法人又は公開集団投資基金若しくは公開集団投資計画の所有に関する情報を入手することができる場合を除くほか、当該情報を入手し、又は提供する義務を生じさせるものではない。
- 6 要請者の権限のある当局は、この協定に基づいて情報の提供を要請するに際しては、求める情報とその要請との関連性を示すため、被要請者の権限のある当局に対し、次に掲げる情報を提供しなければならぬ。

2. If the information in the possession of the competent authority of the Requested Party is not sufficient to enable it to comply with the request for information, the Requested Party shall use all relevant information gathering measures necessary to provide the Requesting Party with the information requested, notwithstanding that the Requested Party may not need such information for its own tax purposes.
3. If specifically requested by the competent authority of the Requesting Party, the competent authority of the Requested Party shall provide information under this Article, to the extent allowable under its laws, in the form of authenticated copies of original records.
4. Each Contracting Party shall ensure that its competent authority for the purposes specified in Article 2, has the authority to obtain and provide upon request:
 - (a) information held by banks, other financial institutions, and any person, including nominees and trustees, acting in an agency or fiduciary capacity; and
 - (b) information regarding the ownership of companies, partnerships and other persons including, within the constraints of Article 3, ownership information on all such persons in an ownership chain. Such information includes:
 - (1) in the case of trusts, information on settlors, trustees, protectors and beneficiaries; and
 - (ii) in the case of foundations, information on founders, members of the foundation council and beneficiaries.
5. This Agreement does not create an obligation on the Contracting Parties to obtain or provide ownership information with respect to publicly traded companies or public collective investment funds or schemes unless such information can be obtained without giving rise to disproportionate difficulties.
6. The competent authority of the Requesting Party shall provide the following information to the competent authority of the Requested Party when making a request for information under this Agreement to demonstrate the foreseeable relevance of the information sought to the request:

ジャージーとの租税協定

- (a) 調査の対象となる者を特定する事項
- (b) 要請する情報に係る記述(当該情報の性質及び要請者が希望する被要請者から当該情報を受領する形式を含む。)
- (c) 要請する情報を必要とする課税目的
- (d) 要請する情報を被要請者が保有しているか又は被要請者の領域的管轄内にある者が保有しており、若しくは管理していると認める根拠
- (e) 要請する情報を保有しており、又は管理していると認められる者の名称及び住所(判明している場合に限る。)
- (f) 要請が要請者の法令及び行政上の慣行に従って行われており、要請者が自らが被要請者の立場にあつたとしたならば自己の法令に基づいて、又は自己の通常の行政上の慣行を通じて情報を入手することとなり、並びに当該要請がこの協定に従って行われている旨の記述
- (g) 要請する情報を入手するために要請者が自己の領域的管轄内において利用可能な全ての手段(過重な困難を生じさせるものを除く。)をとった旨の記述

第六条 海外における租税に関する調査

1 被要請者の権限のある当局は、要請者の権限のある当局の要請があつたときは、被要請者内における租税に関する調査の適当な部分に要請者の権限のある当局の代表者が立ち会つてこれを認めることを行う。

- (a) the identity of the person under examination;
- (b) a statement of the information requested including its nature and the form in which the Requesting Party wishes to receive the information from the Requested Party;
- (c) the tax purposes for which the information requested is sought;
- (d) grounds for believing that the information requested is held by the Requested Party or is in the possession or control of a person who is within the territorial jurisdiction of the Requested Party;
- (e) to the extent known, the name and address of any person believed to be in possession or control of the information requested;
- (f) a statement that the request is in conformity with the laws and administrative practices of the Requesting Party, that the Requesting Party would be able to obtain the information under the laws or in the normal course of administrative practices of the Requesting Party in similar circumstances and that the request is in conformity with the Agreement; and
- (g) a statement that the Requesting Party has pursued all means available within its territorial jurisdiction to obtain the information requested, except those that would give rise to disproportionate difficulties.

Article 6
TAX EXAMINATIONS ABROAD

1. At the request of the competent authority of the Requesting Party, the competent authority of the Requested Party may allow representatives of the competent authority of the Requesting Party to be present at the appropriate part of a tax examination in the Requested Party.

海外にお
ける租税
に関する
調査

要請を拒否することができるときは、

2 租税に関する調査を行う被要請者の権限のある当局は、1に規定する要請に応ずる場合には、できる限り速やかに、要請者の権限のある当局に対し、当該調査の時間及び場所、当該調査を行う当局又は職員並びに当該調査を行うために被要請者が求める手続及び条件を通知する。租税に関する調査の実施についての全ての決定は、当該調査を実施する被要請者が行う。

第七条 要請を拒否することができる場合

1 被要請者は、要請された情報が要請者の領域的管轄内にあつたとしても要請者の権限のある当局が要請者の法令に基づいて、又は要請者の通常の行政上の慣行を通じて入手することができない場合には、当該情報を入手し、又は提供することを要求されない。

2 被要請者の権限のある当局は、次の場合には、支援を拒否することができる。

- (a) 要請者の要請がこの協定に従って行われていない場合
- (b) 要請する情報を入手するために要請者が自己の領域的管轄内において利用可能な全ての手段をとらなかつた場合(そのような手段をとることが過重な困難を生じさせる場合を除く。)
- (c) 要請された情報を公開することが被要請者の公の秩序に反することとなる場合

3 この協定は、締約者に対し、営業上、事業上、産業上、商業上若しくは職業上の秘密又は取引の過程を明らかにするような情報を提供する義務を課するものではない。そのような情報には、弁護士その他の法律事務代理人がその職務に関してその依頼者との間で行う通信に関する情報であつて、各締約者の法令に基づいて保護されるものを含む。この3の前段及び中段の規定にかかわらず、第五条4に規定する情報は、同規定に規定する情報であることのみを理由として、そのような秘密又は取引の過程として取り扱われることはない。

2. If the request referred to in paragraph 1 is acceded to, the competent authority of the Requested Party conducting the examination shall, as soon as possible, notify the competent authority of the Requesting Party about the time and place of the examination, the authority or official designated to carry out the examination and the procedures and conditions required by the Requested Party for the conduct of the examination. All decisions with respect to the conduct of the examination shall be made by the Requested Party conducting the examination.

Article 7
POSSIBILITY OF DECLINING A REQUEST

1. The Requested Party shall not be required to obtain or provide information that if the information requested was within the territorial jurisdiction of the Requesting Party the competent authority of the Requesting Party would not be able to obtain under the laws or in the normal course of administrative practices of the Requesting Party.

2. The competent authority of the Requested Party may decline to assist:

- (a) where the request of the Requesting Party is not made in conformity with this Agreement;
- (b) where the Requesting Party has not pursued all means available within its territorial jurisdiction to obtain the information requested, except where recourse to such means would give rise to disproportionate difficulties; and
- (c) where the disclosure of the information requested would be contrary to public policy (ordre public) of the Requested Party.

3. This Agreement shall not impose on a Contracting Party the obligation to supply information which would disclose any trade, business, industrial, commercial or professional secret or trade process. Such information includes information relating to communications between attorneys, solicitors or other admitted legal representatives in their role as such and their clients to the extent that the communications are protected from disclosure under the laws of each Contracting Party. Notwithstanding the foregoing sentences, information of the type referred to in paragraph 4 of Article 5 shall not be treated as such a secret or trade process merely because it meets the criteria in that paragraph.

4 情報提供の要請は、当該要請を行う契機となった租税債権が係争中であることを理由として、拒否されることはない。

第八条 秘密

1 この協定に基づき両締約者の権限のある当局が提供し、及び受領した全ての情報は、秘密として取り扱われる。

2 1に規定する情報は、第二条に定める目的（不服申立てについての決定を含む。）に開与する者又は当局（裁判所及び行政機関を含む。）であって、両締約者内にあるものに対してのみ開示するものとし、これらの者又は当局は、当該目的のためにのみ当該情報を使用する。当該情報は、当該目的のため、公開の法廷における審理又は司法上の決定において開示することができる。

3 1に規定する情報は、被要請者の権限のある当局の書面による明示の同意なしに、第二条に定める目的以外の目的のために使用することができない。

4 1に規定する情報は、非締約者内にある者又は当局に開示することができない。

第九条 費用

支援の提供において生じた費用の負担については、両締約者の権限のある当局の間で合意される。

第三章 二重課税の回避

第十条 対象となる者

この章の規定は、一方又は双方の締約者の居住者である個人に適用する。

第十一条 対象となる租税

1 この章の規定は、次の租税について適用する。

(a) 日本国については、

(i) 所得税

4. A request for information shall not be refused on the ground that the tax claim giving rise to the request is disputed.

Article 8
CONFIDENTIALITY

1. All information provided and received by the competent authorities of the Contracting Parties under this Agreement shall be kept confidential.

2. The information referred to in paragraph 1 shall be disclosed only to persons or authorities (including courts and administrative bodies) in the Contracting Parties concerned with the purposes referred to in Article 2, and used by such persons or authorities only for such purposes, including the determination of any appeal. For these purposes, the information may be disclosed in public court proceedings or in judicial decisions.

3. The information referred to in paragraph 1 may not be used for any purpose other than for the purposes referred to in Article 2 without the express written consent of the competent authority of the Requested Party.

4. The information referred to in paragraph 1 may not be disclosed to persons or authorities in non-Contracting Parties.

Article 9
COSTS

Incidence of costs incurred in providing assistance shall be agreed by the competent authorities of the Contracting Parties.

Chapter 3
AVOIDANCE OF DOUBLE TAXATION

Article 10
PERSONS COVERED

This Chapter shall apply to individuals who are residents of one or both of the Contracting Parties.

Article 11
TAXES COVERED

1. This Chapter shall apply to the following taxes:

(a) in the case of Japan:

(i) the income tax; and

対象となる租税

対象となる者

費用

秘密

居 住 者

(ii) 住民税

(以下この章において「日本の租税」という。)

(b) ジャージーについては、所得税

(以下この章において「ジャージーの租税」という。)

2 この章の規定は、1に規定する租税に加えて又はこれに代わってこの協定の署名の日の後に課される租税であつて、1に規定する租税と同一であるもの又は実質的に類似するものについても適用する。両締約者の権限のある当局は、各締約者の租税に関する法令について行われた重要な改正を相互に通知する。

第十二条 居住者

1 この章の規定の適用上、「締約者の居住者」とは、当該締約者の法令の下において、住所、居所その他これらに類する基準により当該締約者において課税を受けるべきものとされる個人をいう。ただし、「締約者の居住者」には、当該締約者内に源泉のある所得のみについて当該締約者において租税を課される個人を含まない。

2 1の規定により双方の締約者の居住者に該当する個人については、次のとおりその地位を決定する。

(a) 当該個人は、その使用する恒久的住居が所在する締約者の居住者とみなす。その使用する恒久的住居を双方の締約者内に有する場合には、当該個人は、その人的及び経済的関係がより密接な締約者（重要な利害関係の中心がある締約者）の居住者とみなす。

(b) その重要な利害関係の中心がある締約者を決定することができない場合又はその使用する恒久的住居をいずれの締約者内にも有しない場合には、当該個人は、その有する常用の住居が所在する締約者の居住者とみなす。

(ii) the local inhabitant taxes

(in this Chapter referred to as "Japanese tax"); and

(b) in the case of Jersey, the income tax

(in this Chapter referred to as "Jersey's tax").

2. This Chapter shall apply also to any identical or substantially similar taxes that are imposed after the date of signature of this Agreement in addition to, or in place of, those referred to in paragraph 1. The competent authorities of the Contracting Parties shall notify each other of any significant changes that have been made in their respective tax laws.

Article 12 RESIDENT

1. For the purposes of this Chapter, the term "resident of a Contracting Party" means any individual who, under the laws of that Contracting Party, is liable to tax therein by reason of his domicile, residence or any other criterion of a similar nature. This term, however, does not include any individual who is liable to tax in that Contracting Party in respect only of income from sources in that Contracting Party.

2. Where by reason of paragraph 1 an individual is a resident of both Contracting Parties, then his status shall be determined as follows:

(a) he shall be deemed to be a resident only of the Contracting Party in which he has a permanent home available to him, if he has a permanent home available to him in both Contracting Parties; he shall be deemed to be a resident only of the Contracting Party with which his personal and economic relations are closer (centre of vital interests);

(b) if the Contracting Party in which he has his centre of vital interests cannot be determined, or if he has not a permanent home available to him in either Contracting Party, he shall be deemed to be a resident only of the Contracting Party in which he has an habitual abode;

(c) その常用の住居を双方の締約者内に有する場合又はこれをいずれの締約者内にも有しない場合には、両締約者の権限のある当局は、合意によりその事案を解決する。

第十三条 退職年金

次条2の規定が適用される場合を除くほか、締約者の居住者が受益者である退職年金その他これに類する報酬に対しては、当該締約者においてのみ租税を課することができる。

第十四条 政府職員

1 一方の締約者又は一方の締約者の地方政府若しくは地方公共団体に対し提供される役務につき、個人に対し、当該一方の締約者又は当該一方の締約者の地方政府若しくは地方公共団体によって支払われる給料、賃金その他これらに類する報酬に対しては、当該一方の締約者においてのみ租税を課することができる。もつとも、当該役務が他方の締約者内において提供され、かつ、当該個人が当該他方の締約者の居住者であつて、専ら当該役務を提供するため当該他方の締約者の居住者となつた者でないものである場合には、その給料、賃金その他これらに類する報酬に対しては、当該他方の締約者においてのみ租税を課することができる。

2 1の規定にかかわらず、一方の締約者又は一方の締約者の地方政府若しくは地方公共団体に対し提供される役務につき、個人に対し、当該一方の締約者若しくは当該一方の締約者の地方政府若しくは地方公共団体によって支払われ、又は当該一方の締約者若しくは当該一方の締約者の地方政府若しくは地方公共団体が拠出し、若しくは設立した基金から支払われる退職年金その他これに類する報酬に対しては、当該一方の締約者においてのみ租税を課することができる。

3 1及び2の規定は、一方の締約者又は一方の締約者の地方政府若しくは地方公共団体の行う事業に関連して提供される役務につき支払われる給料、賃金、退職年金その他これらに類する報酬については、適用しない。

(c) if he has an habitual abode in both Contracting Parties or in neither of them, the competent authorities of the Contracting Parties shall settle the question by mutual agreement.

Article 13
PENSIONS

Subject to paragraph 2 of Article 14, pensions and other similar remuneration beneficially owned by a resident of a Contracting Party shall be taxable only in that Contracting Party.

Article 14
GOVERNMENT SERVICE

1. Salaries, wages and other similar remuneration paid by a Contracting Party or a political subdivision or local authority thereof to an individual in respect of services rendered to that Contracting Party or political subdivision or local authority shall be taxable only in that Contracting Party. However, such salaries, wages and other similar remuneration shall be taxable only in the other Contracting Party if the services are rendered in that other Contracting Party and the individual is a resident of that other Contracting Party who did not become a resident of that other Contracting Party solely for the purpose of rendering the services.

2. Notwithstanding paragraph 1, pensions and other similar remuneration paid by, or out of funds to which contributions are made or created by, a Contracting Party or a political subdivision or local authority thereof to an individual in respect of services rendered to that Contracting Party or political subdivision or local authority shall be taxable only in that Contracting Party.

3. Paragraphs 1 and 2 shall not apply to salaries, wages, pensions, and other similar remuneration in respect of services rendered in connection with a business carried on by a Contracting Party or a political subdivision or local authority thereof.

第十五条 学生

専ら教育又は訓練を受けるため一方の締約者内に滞在する学生又は事業修習者であつて、現に他方の締約者の居住者であるもの又はその滞在の直前に他方の締約者の居住者であつたものがその生計、教育又は訓練のために受け取る給付(当該一方の締約者外から支払われるものに限る。)については、当該一方の締約者においては、租税を課することができない。この条に定める租税の免除は、事業修習者については、当該一方の締約者内において最初に訓練を開始した日から一年を超えない期間についてのみ適用する。

第十六条 二重課税の除去

1 日本国以外の国において納付される租税を日本国の租税から控除することに関する日本国の法令の規定に従い、日本国の居住者がこの章の規定に従つてジャージーにおいて租税を課される所得をジャージー内から取得する場合には、当該所得について納付されるジャージーの租税の額は、当該居住者に対して課される日本国の租税の額から控除する。ただし、控除の額は、日本国の租税の額のうち当該所得に対応する部分を超えないものとする。

2 ジャージー以外の国において納付される租税をジャージーの租税から控除することに関するジャージーの法令の規定に従い、ジャージーの居住者がこの章の規定に従つて日本国において租税を課される所得を日本国内から取得する場合には、当該所得について納付される日本国の租税の額は、当該居住者に対して課されるジャージーの租税の額から控除する。ただし、控除の額は、ジャージーの租税の額のうち当該所得に対応する部分を超えないものとする。

Article 15
STUDENTS

Payments which a student or business apprentice who is or was immediately before visiting a Contracting Party a resident of the other Contracting Party and who is present in the first-mentioned Contracting Party solely for the purpose of his education or training receives for the purpose of his maintenance, education or training shall not be taxed in the first-mentioned Contracting Party, provided that such payments arise from sources outside the first-mentioned Contracting Party. The exemption provided by this Article shall apply to a business apprentice only for a period not exceeding one year from the date on which he first begins his training in the first-mentioned Contracting Party.

Article 16
ELIMINATION OF DOUBLE TAXATION

1. Subject to the provisions of the laws of Japan regarding the allowance as a credit against Japanese tax of tax payable in any country other than Japan, where a resident of Japan derives income from Jersey which may be taxed in Jersey in accordance with this Chapter, the amount of Jersey's tax payable in respect of that income shall be allowed as a credit against the Japanese tax imposed on that resident. The amount of credit, however, shall not exceed that part of the Japanese tax which is appropriate to that income.

2. Subject to the provisions of the laws of Jersey regarding the allowance as a credit against Jersey's tax of tax payable in any country other than Jersey, where a resident of Jersey derives income from Japan which may be taxed in Japan in accordance with this Chapter, the amount of Japanese tax payable in respect of that income shall be allowed as a credit against the Jersey's tax imposed on that resident. The amount of credit, however, shall not exceed that part of the Jersey's tax which is appropriate to that income.

第四章 特別規定

第十七条 相互協議手続

相互協議
手続

1 一方又は双方の締約者の措置により前章の規定に適合しない課税を受けたと認める者又は受けることになると認める者は、その事案について、当該一方又は双方の締約者の法令に定める救済手段とは別に、第十二条の規定により自己が居住者とされる締約者の権限のある当局に対して、申立てをすることができる。当該申立ては、前章の規定に適合しない課税に係る措置の最初の通知の日から三年以内に行わなければならない。

2 一方の締約者の権限のある当局は、1に規定する申立てを正当と認めるが、自ら満足すべく解決を与えることができない場合には、前章の規定に適合しない課税を回避するため、他方の締約者の権限のある当局との合意によってその事案を解決しよう努める。成立した全ての合意は、両締約者の法令上のいかなる期間制限にもかかわらず、実施されなければならない。

3 両締約者の権限のある当局は、この協定の解釈又は適用に関して生ずる困難又は疑義を合意によって解決しよう努める。

4 両締約者の権限のある当局は、2及び3に規定する合意に達するため、直接相互に通信することができる。

第五章 最終規定

第十八条 見出し

この協定中の章及び条の見出しは、引用上の便宜のためにのみ付されたものであって、この協定の解釈に影響を及ぼすものではない。

Chapter 4
SPECIAL PROVISIONS

Article 17
MUTUAL AGREEMENT PROCEDURES

1. Where a person considers that the actions of one or both of the Contracting Parties result or will result for him in taxation not in accordance with Chapter 3, he may, irrespective of the remedies provided by the laws of those Contracting Parties, present his case to the competent authority of the Contracting Party of which he is a resident as determined pursuant to Article 12. The case must be presented within three years from the first notification of the action resulting in taxation not in accordance with that Chapter.

2. The competent authority of a Contracting Party shall endeavour, if the objection appears to it to be justified and if it is not itself able to arrive at a satisfactory solution, to resolve the case by mutual agreement with the competent authority of the other Contracting Party, with a view to the avoidance of taxation which is not in accordance with Chapter 3. Any agreement reached shall be implemented notwithstanding any time limits in the laws of the Contracting Parties.

3. The competent authorities of the Contracting Parties shall endeavour to resolve by mutual agreement any difficulties or doubts arising as to the interpretation or application of this Agreement.

4. The competent authorities of the Contracting Parties may communicate with each other directly for the purpose of reaching an agreement in the sense of the preceding paragraphs of this Article.

Chapter 5
FINAL PROVISIONS

Article 18
HEADINGS

The headings of the Chapters and the Articles of this Agreement are inserted for convenience of reference only and shall not affect the interpretation of the Agreement.

第十九条 効力発生

- 1 この協定は、両締約者のそれぞれの法令上の手続に従って承認されなければならない。この協定は、その承認を通知する公文の交換の日の後三十日目の日に効力を生ずる。
- 2 この協定は、この協定が効力を生ずる日以後に課される租税について適用する。
- 3 2の規定にかかわらず、第三章の規定は、次のものについて適用する。
 - (a) 源泉徴収される租税に関しては、この協定が効力を生ずる年の翌年の一月一日以後に租税を課される額
 - (b) 源泉徴収されない所得に対する租税に関しては、この協定が効力を生ずる年の翌年の一月一日以後に開始する各課税年度の所得

第二十条 終了

- 1 この協定は、一方の締約者によって終了させられる時まで効力を有する。いずれの一方の締約者も、この協定の効力発生の日から五年の期間が満了した後を開始する各暦年の末日の六箇月前までに、他方の締約者に対し書面による終了の通告を行うことにより、この協定を終了させることができる。この場合では、この協定は、次のものについて適用されなくなる。
 - (a) 源泉徴収される租税に関しては、終了の通告が行われた年の翌年の一月一日以後に租税を課される額
 - (b) 源泉徴収されない所得に対する租税に関しては、終了の通告が行われた年の翌年の一月一日以後に開始する各課税年度の所得
 - (c) その他の租税に関しては、終了の通告が行われた年の翌年の一月一日以後に課される租税

Article 19
ENTRY INTO FORCE

1. This Agreement shall be approved in accordance with the legal procedures of each of the Contracting Parties and shall enter into force on the thirtieth day after the date of exchange of notes indicating such approval.
2. This Agreement shall be applicable for taxes levied on or after the date on which the Agreement enters into force.
3. Notwithstanding paragraph 2, Chapter 3 shall be applicable:

- (a) with respect to taxes withheld at source, for amounts taxable on or after 1 January in the calendar year next following that in which this Agreement enters into force; and
- (b) with respect to taxes on income which are not withheld at source, for income for any taxable year beginning on or after 1 January in the calendar year next following that in which this Agreement enters into force.

Article 20
TERMINATION

1. This Agreement shall remain in force until terminated by a Contracting Party. Either Contracting Party may terminate the Agreement by giving notice of termination in writing at least six months before the end of any calendar year beginning after the expiry of five years from the date of entry into force of the Agreement. In such event, the Agreement shall cease to have effect:
 - (a) with respect to taxes withheld at source, for amounts taxable on or after 1 January in the calendar year next following that in which the notice is given;
 - (b) with respect to taxes on income which are not withheld at source, as regards income for any taxable year beginning on or after 1 January in the calendar year next following that in which the notice is given; and
 - (c) with respect to other taxes, as regards taxes levied on or after 1 January in the calendar year next following that in which the notice is given.

末
文

2 この協定が終了する場合においても、各締約者は、この協定に基づき当該締約者の権限のある當局が提供し、及び受領した情報について、引き続き第八条の規定に拘束される。

以上の証拠として、下名は、各自の政府から正当に委任を受けてこの協定に署名した。

二十一年十二月二日にロンドンで、ひとしく正文である日本語及び英語により本書一通を作成した。

日本国政府のために

林 景一

ジャージー政府のために

イアン・ゴースト

2. If this Agreement is terminated, each Contracting Party shall remain bound by Article 8 with respect to any information provided and received by the competent authority of the Contracting Party under the Agreement.

IN WITNESS WHEREOF the undersigned, being duly authorised thereto by their respective Governments, have signed this Agreement.

DONE in duplicate at London this second day of December, 2011, in the Japanese and English languages, each text being equally authentic.

For the Government
of Japan:

Keiichi Hayashi

For the Government
of Jersey:

Ian Gorst

議定書

議定書

脱税の防止のための情報の交換及び個人の所得に対する租税に関する二重課税の回避のための日本国政府とジャージー政府との間の協定（以下「協定」という。）の署名に当たり、日本国政府及びグレートブリテン及び北アイルランド連合王国政府の委任に基づき租税に関する情報の交換のための協定を交渉し、締結する権限を有するジャージー政府は、協定の不可分の一部を成す次の規定を協定した。

協定第五条の規定に関し、被要請者の権限のある当局は、できる限り速やかに要請された情報を要請者に提供する。迅速な対応を確保するため、被要請者の権限のある当局は、次のことを行う。

- (a) 要請者の権限のある当局に対し、要請の受領を書面によって確認すること及び当該要請に不備がある場合には、要請者の権限のある当局に対し、当該要請の受領の日から六十日以内に当該不備を通知すること。
- (b) 要請の受領の日から九十日以内に要請された情報を入力し、及び提供することができない場合、当該情報を提供することについて障害がある場合又は当該情報を提供することを拒否する場合を含む。（）には、要請者の権限のある当局に対し、そのような入手及び提供が不可能である理由、当該障害の性質又はその拒否の理由を説明するため直ちに通知すること。

以上の証拠として、下名は、各自の政府から正当に委任を受けてこの議定書に署名した。

ジャージーとの租税協定

PROTOCOL

At the signing of the Agreement between the Government of Japan and the Government of Jersey for the exchange of information for the purpose of the prevention of fiscal evasion and the avoidance of double taxation with respect to taxes on income of individuals (hereinafter referred to as "the Agreement"), the Government of Japan and the Government of Jersey, the Government of Jersey having the right under the terms of its Enfranchisement from the Government of the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland to negotiate and conclude a tax information exchange agreement, have agreed upon the following provisions, which shall form an integral part of the Agreement.

With reference to Article 5 of the Agreement, the competent authority of the Requested Party shall forward the information requested as promptly as possible to the Requesting Party. To ensure a prompt response, the competent authority of the Requested Party shall:

- (a) confirm receipt of a request in writing to the competent authority of the Requesting Party and shall notify the competent authority of the Requesting Party of deficiencies in the request, if any, within sixty days of the receipt of the request; and
- (b) if the competent authority of the Requested Party has been unable to obtain and provide the information within ninety days of the receipt of the request, including if it encounters obstacles in furnishing the information or it refuses to furnish the information, immediately inform the competent authority of the Requesting Party, explaining the reason for its inability, the nature of the obstacles or the reasons for its refusal.

IN WITNESS WHEREOF the undersigned, being duly authorised thereto by their respective Governments, have signed this Protocol.

二八五

二千十一年十二月二日にロンドンで、ひとしく正文である日本語及び英語により本書一通を作成した。

DONE in duplicate at London this second day of December, 2011, in the Japanese and English languages, each text being equally authentic.

日本国政府のために

林 景一

For the Government
of Japan:

Keiichi Hayashi

For the Government
of Jersey:

Ian Gorst

ジャージー政府のために

イアン・ゴースト

(参考)

この協定は、ジャージー政府との間で、国際的な脱税及び租税回避行為を防止するため、租税に関する情報交換を行うための詳細な枠組みを定めると共に、日本国とジャージーとの両国間の人的交流を促進する観点から、退職年金等の特定の個人の所得に対する課税の免除について定めるものである。